

令和5年1月31日開催

保健医療・高齢者等福祉対策特別委員会

委員長報告

令和5年3月定例会

委員長 大関修克

去る1月31日に開催されました当委員会の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

初めに、報告事項の1「川口市安行霊園基本計画の策定について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

策定の経緯と目的については、少子高齢化や核家族化の進展に伴う墓地のあり方等に対する価値観に多様化が見られることや開園から50年以上経過したことによる当該施設の老朽化を踏まえ、既存施設の建替えや合葬式墓地を新たに設置するなど、社会状況等の変化に伴う墓地需要に対応するため、霊園施設の整備方法等に関する基本計画を策定しているとのこと。

本計画案の概要については、公営墓地としての役割や新たな墓地形態等の需要に対応可能な施設とすることを基本コンセプトに、施設の機能を複合化するほか、緑地を確保して景観に配慮するなど、市民に親しまれる場となる霊園を整備していくとのこと。

今後の予定については、令和5年1月4日から2月2日までパブリックコメントを実施し、令和5年度から基本設計及び実施設計を行い、令和7年度から解体工事及び整備工事を予定しているとのことでありました。

以上のような説明に対して、合葬式墓地の運用にかかわり、合同埋蔵とする際の遺骨の粉骨が可能な施設について問われ、これに対して、市営火葬場の「川口市めぐりの森」において粉骨事業の導入を検討しているとのことでありました。

このほか、当該施設整備後の管理・運営方式について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の2「『川口市立医療センター経営改革プラン2021-2023』の進捗状況について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

医療センターでは、総務省が求める公立病院改革の内容を踏まえ、「川口市立医療センター経営改革プラン2021-2023」を策定し、基本理念や目指す姿の実現に向けた取り組みを行なっているとのこと。

本計画に定める重要評価指標の各指標については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が実績値に影響しており、新入院患者数等の指標の多くが計画値に対して未達成となったとのこと。

本計画の令和3年度評価としては、新型コロナウイルス感染症対応に係る国、県及び市の補助制度の活用等により経常収支は黒字となったが、多くの指標が未達成となっていることから、今後は新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、地域医療機関との連携強化を図るなど、地域の基幹病院として高度な急性期医療の確実な提供と継続的な健全経営に努めていくとのことでありました。

以上のような説明に対して、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けの変更に伴う本計画の見直しについて問われ、これに対して、新型コロナウイルス感染症の今後の状況を予想することは困難であることから、本計画の見直しは考えていないとのことでありました。

このほか、一部の患者における在院日数の長期化の理由について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

以上で報告を終わります。